

電気配線工事説明書

電気配線工事は電気設備技術基準及び内線規程に従い、電力会社の認定工事店で行ってください。

安全上のご注意

- 作業前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく作業してください。

安全のため必ずお守りください。

- 誤った作業、行為をしたときに生じる危害や損害を「**△警告**」と「**△注意**」に区分し、お守りいただく内容を「**図記号**」を使用し説明していますので、必ずお守りください。
- 「**△警告**」「**△注意**」の意味

△警告	守らないと、死亡または重大な障害にいたる危険性がある事項について説明しています。	△注意	守らないと、傷害や物的損害ある事項について説明しています。
------------	--	------------	-------------------------------

- ここで使われる“**図記号**”の意味は右のとおりです。

絶対に行わない 必ず指示に従い行う

- 下記のことを必ず守ってください。守らないときは、感電による火災、感電又は過熱、ショートによる火災のおそれがあります。

△警告

- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」及び電気配線工事説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災などの原因になります。
- 室内外ユニット間の配線は、端子カバーが浮き上がらないように整形し、カバーを確実に取付ける。
カバーの取付けが不完全な場合は、端子接続部の発熱、火災や感電の原因になります。
- 別売品は、必ず当社指定の部品を使用する。また、取付けは専門業者に依頼する。
ご自分で取付けをされ、不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 改修は絶対に行わない。また、修理はお買い上げの販売店に相談する。
修理に不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内外ユニットを移動再設置する場合は、販売店または専門業者に相談する。
据付けに不備があると水漏れや感電、火災などの原因になります。
- 室内外ユニットの修理・点検作業に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF する。
点検・修理にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびファン回転によるケガの原因になります。
- 元電源を切った後に電気工事をする。
感電、故障や動作不良の原因になります。

△注意

- アース（接地）を確実に行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アース（接地）が不完全な場合は、故障や漏電のとき感電や火災の原因になることがあります。
- 電源には必ず漏電遮断器（高調波対応品）を取付ける。
漏電遮断器が取付けられていないと感電や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量の全極遮断するブレーカ（漏電遮断器・手元開閉器（開閉器＋B種ヒューズ）・配線遮断器）を使用する。
不適切な容量のブレーカを使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 正しい容量のヒューズ以外は使用しない。
針金や銅線を使用すると故障や火災の原因になることがあります。
- 電源配線は、電流容量に合った規格品の配線を使用する。
漏電や発熱・火災などの原因になることがあります。
- 室内外接続用端子台および電源用端子台に単線とより線を併用しない。
また、異なったサイズの単線またはより線を併用しない。
端子台のねじゆるみや接触不良が生じ、発煙・発火の原因になることがあります。
- 運転停止後、すぐに電源を切らない。
必ず5分以上待ってください。水漏れや故障の原因になることがあります。
- 電源ブレーカによるエアコンの運転や停止をしない。
火災や水漏れの原因になることがあります。ファンが突然回り、ケガの原因になることがあります。

制御の切り換え

- 室内ユニットの制御内容を下記方法にて切り換え可能です。（ は工場出荷時の設定）

スイッチNo.	制御内容
SW1	室内アドレス(10位)
SW2	室内アドレス(1位)
SW6-1~4	機種容量
SW7-1	ON 運転チェック・ドレンポンプ試運転 OFF 通常運転
SW7-2 (注1)	ON 旧SL通信仕様固定 OFF 新SL/旧SL通信仕様自動判別
SW7-3	ON 室内アドレス(100の位) ON:1 OFF 室内アドレス(100の位) OFF:0

※注1：集中制御機器接続時の場合

通信方式であるスーパーリンクの仕様を選択できます。

旧 SL：ビル空調 2LX シリーズ，ガスヒートポンプ M7 シリーズ以前

新 SL：ビル空調 3LX シリーズ，ガスヒートポンプ M8 シリーズ以降

SW7-2 が OFF (工場出荷設定) の場合は、通信仕様 (新 SL/ 旧 SL) を自動判別します。

旧 SL 通信仕様固定で使用する場合は、SW7-2 を ON にしてください。

各通信仕様の特徴、制限は室内ユニット付属の説明書をご覧ください。

機種容量の設定

- 本室内ユニットは、マルチV接続の場合のみ、それぞれの室内ユニット毎に機種容量設定が必要です。

機種容量設定は室内ユニットの制御箱内の基板上的スイッチ SW6 で設定してください。

シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合

[i] 同機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合

- ①室外ユニットから電源投入すると自動で機種容量を認識しますので、スイッチ設定は不要です。
- ②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は **③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法** を参照してください。

マルチV接続の場合

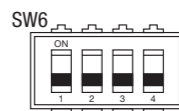
[i] 異機種 / 異容量、同機種 / 異容量の室内ユニットを接続する場合

- ①電源投入前に室内ユニットの制御箱内の基板上的スイッチ SW6 で機種容量を設定してください。形式により設定できる機種容量は下表の通りです。これ以外に設定しないでください。正常に運転できません。また破損の原因となります。

[ii] 異機種 / 同容量の室内ユニットを接続する場合

- ①自動で機種容量を認識するため、設定不要です。

形式	FDT	ZP636S			ZP716S	ZP806S	ZP1606S	
	FDR	ZP566S	ZP636S	ZP716S	ZP806S	ZP1126S	ZP1606S	
容量	P50	P56	P63	P71	P80	P112	P140	
SW6-1	ON	OFF	ON	OFF	ON	ON	OFF	
SW6-2	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	OFF	
SW6-3	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	ON	
SW6-4	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	



[工場出荷時設定]

注1：工場出荷時の設定は自動認識(全てOFF)になっています。

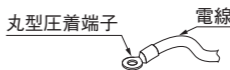
注2：シングル・ツイン・トリプル・Wツイン接続の場合でもスイッチを自動認識以外の状態にすると、設定した機種容量として認識してしまいます。

- ②エコタッチリモコンから、機種容量を確認できます。詳細は **③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法** を参照してください。

①電源・室内外配線の接続

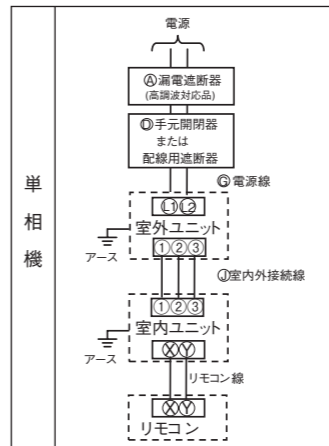
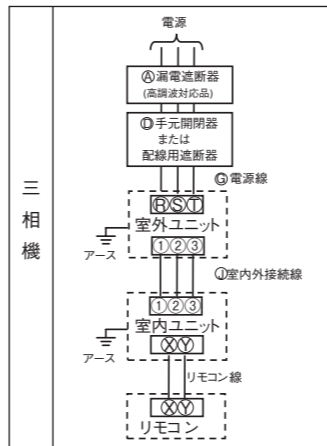
- 電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。本配線仕様は、下記に基づいて決定しています。

- ①配線は銅線以外のものを使用しないでください。
 - ②電源は、室外ユニットへ接続してください。
 - ③電気ヒータ(別売品)はなしにて記載してあります。注:電気ヒータの組込みは不可です。別置ヒータを連動させる場合は、ヒータ専用電源を設けること。
- アース線は室内外接続線及び室内ユニット間配線の接続前に接続してください。また、アース線は室内外接続線より長くし、アース線に力がかからないようにしてください。
 - 電源は工事が完了するまで入れないでください。
 - D種接地工事を必ず行ってください。
 - 端子台への接続は、丸型圧着端子を使用してください。
 - 専用の分岐回路を用い、他の機器と併用しないでください。併用した場合、電源ブレーカ落ちによる二次災害が生じる恐れがあります。
 - 室内外接続線は必ず3心ケーブルを使用してください。詳細は室外ユニットに付属の据付説明書を参照ください。
 - 室内外接続線は途中接続しないでください。途中接続した場所に水が浸入すると、対地間絶縁不良や途中接続部の接触不良をまねき、通信異常の原因となります。(万一、途中接続する場合には、絶対に水が浸入しないような処置を行ってください。)
 - 天井裏内の配線(電源・リモコン・室内外接続線など)はネズミ等により、かじられ切断することもありますので、なるべく鉄管等の保護管内に通してください。
 - 室内外ユニットの外部では、リモコン線と電源線が直接触れないように施工してください。
 - 信号側端子台には、200V電源を絶対に接続しないでください。故障の原因となります。
 - 室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続
 - ①室内外接続線・室内ユニット間配線・アース線およびリモコン線の接続は、制御箱内の電源側端子台、信号側端子台に接続してください。室内外接続線の①②③は極性がありますので、必ず番号を合わせて接続してください。また、アース線は、電源側端子台アース端子に接続してください。
 - ②電源には必ず漏電遮断器を取付けてください。漏電遮断器は、インバータ回路用遮断器(三菱電機製NV-Cシリーズまたは、その同等品)を選択してください。
 - ③漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、漏電遮断器と直列に手元開閉器(開閉器+B種ヒューズ)または、配線用遮断器が必要となります。
 - ④手元開閉器は室外ユニットの近傍に設置してください。
 - 配線の接続はねじの緩みがないように確実に行ってください。また、制御箱内のコネクタの抜けや端子外れがないことを確認してください。
 - 補助電気ヒータ組込の場合は、電気ヒータ組込時の説明書・または技術資料で確認してください。



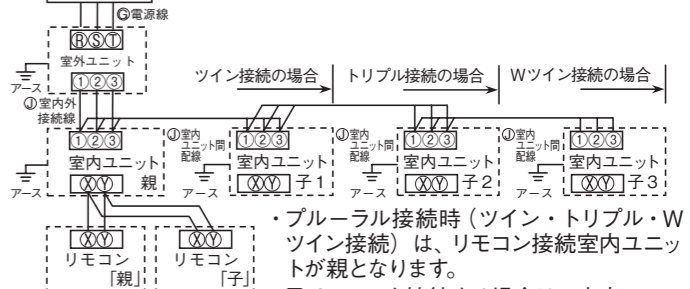
シングル接続の結線

- ①室内電源取り及び室内外別電源取りは原則できません。
※例外的な接続方法の場合は技術資料を参照の上、所轄の電力会社にご相談の上、指示に従ってください。



ツイン・トリプル・Wツイン接続の結線

- ①親・子室内ユニット間は端子台①②③同一番号間を接続してください。
- ②室内基板上的スイッチ SW7-3 (100 の位)、SW 1 (10 の位)、SW2 (1 の位) により、「000」～「015」に設定してください。同一冷媒系統すべての室内ユニットは同一アドレスに設定してください。



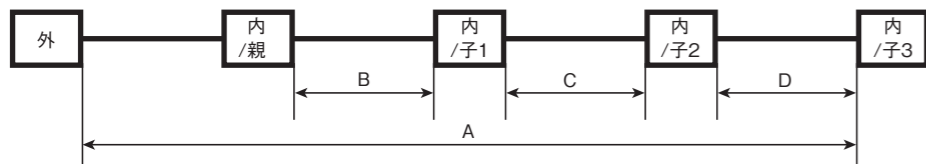
- ブルーラル接続時(ツイン・トリプル・Wツイン接続)は、リモコン接続室内ユニットが親となります。
- 子リモコンを接続する場合は、室内ユニットの親機に接続してください。(室内ユニットの子機に、子リモコンを接続しても子リモコンは操作できません。)

①電源・室内外配線の接続 (つづき)

フリーアドレスプルール接続時の総配線長制限

下記の条件①、②のどちらかひとつでも該当する場合は、フリーアドレスプルール接続できません。

	室内外接続配線太さ	総配線線長：A	室内ユニット間の接続配線長：B,C,D
①	3.5mm ² 使用時	80mを超える場合	いずれか55mを超える場合
	Φ1.6mm使用時	70mを超える場合	いずれか25mを超える場合
②	接続される室内ユニットの中に、フリーアドレスプルール制御非対応機がある場合 (FDFタイプ、5型以前の室内ユニットが含まれる場合)		

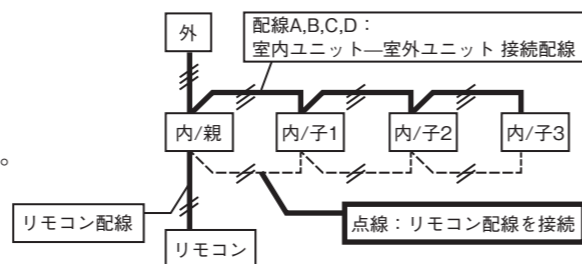


①・②の場合は、室内ユニット間の通信にはリモコン配線(右図:点線)を使用し、室内ユニットの親機—子機設定スイッチ(SW5-1,5-2)を、下記のとおり設定ください。

アドレスSW	親機	子1	子2	子3
SW5-1	OFF	OFF	ON	ON
SW5-2	OFF	ON	OFF	ON

また、室外ユニットのフリーアドレスプルール設定スイッチを、下記のとおり設定ください。(室外ユニットの据付説明書を参照ください。)

Exceed 3HP...FDCZ(S)P806H, HK	SW8-3 : OFF→ON
上記以外の室外ユニット	SW4-1 : OFF→ON



②リモコンの取付け (別売部品)

●取付けの詳細はリモコンの据付説明書を参照ください。

●次の位置へ取付けないでください。

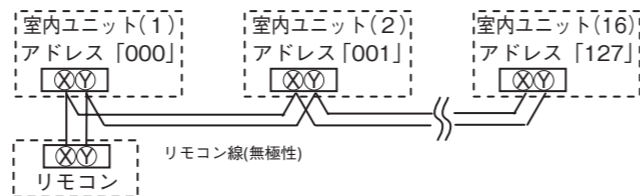
- 直射日光の当たる所
- 湿気の多い所、水が飛散する所
- 油の飛沫や蒸気が直接接触する所
- 発熱器具に近い所
- 取付け面が発熱・結露する所
- 取付け面の凹凸がある所

リモコン取付け・配線

- リモコンの取付けは、リモコン付属の説明書に従ってください。
- リモコン線は、0.3mm²×2心の電線またはケーブルを使用してください。配線の被覆は1mm以上のものを使用してください。(現地手配)
- リモコン線の総延長は600mです。
延長距離が100mを超える場合は、下記サイズに変更してください。但し、リモコンケース内を通る配線は最大0.5mm²以下とし、リモコン外部の近傍で配線接続により、サイズを変更してください。
100~200m以内・・・0.5mm²×2心
300m以内・・・0.75mm²×2心
400m以内・・・1.25mm²×2心
600m以内・・・2.0mm²×2心
- 誤動作する場合がありますので、多芯ケーブルの使用は避けてください。
- リモコン線はアース(建物の鉄骨部分または金属など)からできるだけ離してください。
- リモコン線は確実にリモコンと室内ユニットの端子台に接続してください。(極性はありませぬ)

1リモコンによる複数台室内ユニット制御

- 1つのリモコンで複数台の室内ユニット(最大16台)をグループ制御できます。同一モード、同一室温設定で運転します。
- グループ制御用に各室内ユニット間を2心のリモコン線にて渡り配線してください。
- 室内ユニットの基板上的スイッチ SW7-3 (100の位)、SW1 (10の位)、SW2 (1の位)により、室内アドレスを重複しないよう「000」～「127」から設定してください。

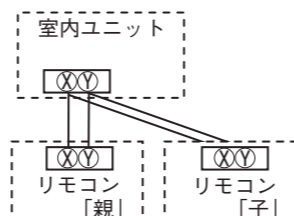


複数リモコン使用時の親子設定

室内ユニット1台(又は1グループ)に対して、最大2個までリモコンを接続できます。後操作優先で運転します。ワイヤードリモコン2台、あるいはワイヤードリモコン+ワイヤレスキット、あるいはワイヤレスキット2台のいずれかの組合せができます。

1個を「親」に、残りを「子」に設定してください。

- 注意 リモコンセンサ有効設定は親リモコンのみ可能です。親リモコンを室温検知させる位置に取付けてください。



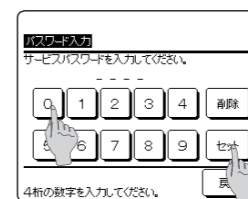
③室内ユニットのアドレス機種容量確認方法

●電源投入後、接続されている室内ユニットの機種容量とアドレスがリモコンに表示されることを必ず確認してください。(アドレス確認はシングル接続を除く)

eco タッチリモコン (RC-DX シリーズ) の場合



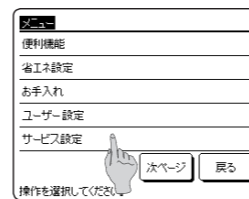
1 メニューをタッチする。メニュー画面に切り換わります。



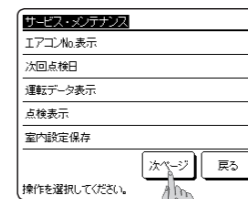
4 サービスパスワードを入力する。
5 セットをタッチする。サービス・メンテナンスの画面に切り換わります。

室内機No.	容量
000	40
001	71
002	80
003	112
004	224
005	280

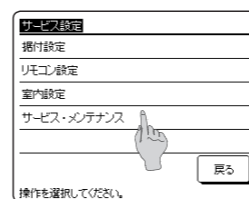
8 接続されている室内ユニットのアドレスNo. (室内機No.)と機種容量(容量)が表示されます。



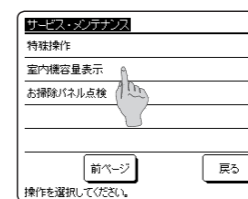
2 サービス設定をタッチする。サービス設定画面に切り換わります。



6 次ページをタッチする。

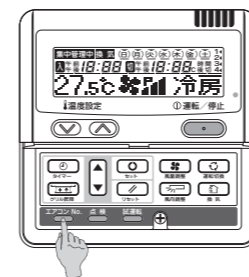


3 サービス・メンテナンスをタッチする。パスワード入力画面に切り換わります。



7 室内機容量表示をタッチする。

標準リモコン (RC-D シリーズ) の場合 機種容量は確認できません。



- エアコンNoボタンを押す。室内ユニットアドレスが表示されます。
- ▲▼ボタンを押す。接続されている室内ユニットのアドレスが表示されます。

カバーを開けた状態です。また、液晶表示部は全表示してあります。

④ リモコンからの操作・確認方法

No.	項目	eco タッチリモコンから操作(RC-DX シリーズ)	標準リモコンから操作(RC-D シリーズ)
1	リモコン系統内の接続ユニットの接続台数確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[エアコン No. 表示]	① エアコン No. を押してください。 ② ▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを1台ずつ確認してください。
2	リモコン系統内の接続室内ユニットの接続確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[エアコン No. 表示]⇒[個別送風運転]	① エアコン No. を押してください。 ② ▲▼ボタンで室内ユニットのアドレスを選択してください。 ③ [運転切換]を押してください。送風運転します。
3	親子リモコン設定	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[サービスパスワード]⇒[リモコン親子設定]	子リモコン切換スイッチ(SW1)を「子」に設定してください。
4	運転データの確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[運転データ表示]	[点検]⇒運転データ表示▼⇒[セット]⇒データ確認中⇒室内機選択⇒▲▼ボタンで接続されている室内アドレスを1台選択⇒[セット]⇒データ確認中⇒▲▼データ選択
5	点検表示の確認方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[サービス・メンテナンス]⇒[サービスパスワード]⇒[点検表示]	[点検]⇒運転データ表示▼⇒[▼]⇒エラーデータ表示▲⇒[セット]⇒データ確認中⇒データ表示
6	リモコンからの冷房試運転方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[サービスパスワード]⇒[試運転]⇒[冷房試運転]⇒[開始]	① [運転/停止]を押し、運転させてください。 ② [運転切換]により、「冷房」を選択します。 ③ [試運転]を3秒以上押します。表示が、「冷房試運転▼」となります。 ④ 「冷房試運転▼」の表示で、[セット]ボタンを押すと、冷房試運転を開始します。表示は「冷房試運転」となります。
7	リモコンからドレンポンプ試運転方法	[メニュー]⇒[サービス設定]⇒[据付設定]⇒[サービスパスワード]⇒[試運転]⇒[ドレンポンプ試運転]⇒[運転]	① [運転/停止]を押し、運転させてください。表示が「冷房試運転▼」となります。 ② [▼]を一度押し、「ドレンポンプ運転」を表示させます。 ③ [セット]を押すと、ドレンポンプ運転を開始します。表示：「セットで停止」

リモコン形式の違いにより、メニュー構成が異なる場合があります。リモコン形式が異なる場合は、リモコン付属の据付説明書をご覧ください。

⑤ リモコンからの操作・設定

〈ecoタッチリモコンの凡例〉

A: eco タッチリモコン付属の取扱説明書を参照ください。
B: eco タッチリモコン付属の据付工事説明書を参照ください。
C: インターネットよりユーティリティソフトを配信中です。

〈標準リモコンの設定操作可否〉

○: eco タッチリモコンと、ほぼ同等の機能設定・操作が可能です。
△: eco タッチリモコンと、類似の機能設定・操作が可能です。
空欄: 標準リモコンには、この機能はありません。

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
1. リモコンネットワーク			
1 複数室内機制御	リモコン1台(リモコンネットワーク内)に最大16台室内機を接続制御できます。室内機側にアドレスを設定します。		○
2 親子リモコン設定	リモコンネットワーク内に2個のリモコン(含むワイヤレスリモコン)を接続できます。片側を「親」とし、片側を「子」として設定します。	B	○
2.TOP 画面・SW 操作			
1 メニュー	制御・設定・詳細設定等の項目を追加します。	A	
2 運転モード	冷房・暖房・送風・自動・除湿を設定します。	A	○
3 設定温度	室温を0.5℃単位で設定します。	A	○
4 風向	風向を設定します。おまかせ気流の有効/無効を設定します(FDKの場合)。 ※2	A	△
5 風量	風量を設定します。	A	○
6 タイマー設定	タイマー運転を設定します。	A	○
7 運転/停止 SW	運転を開始します。/停止します。	A	○
8 F1 スイッチ	※1 F1 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
9 F2 スイッチ	※1 F2 スイッチの割付られた機能で運転、操作を行います。	A	
10 言語切換	※2 リモコンに表示する言語を選択します。 選択できる言語は下記です。 英語/日本語 ドイツ語/フランス語/スペイン語/ポルトガル語/中国語	A	
3. 便利機能			
1 フリーフロー設定	各ルーバの可動範囲(上限位置-下限位置)を設定します。 FDKの場合は左限位置-右限位置も設定します。 ※2	A	△
2 エアフレックス(風よけ)設定	※1 ・詳細設定:各運転モード、各吹出口のエアフレックス(風よけ)機構動作の有効・無効を設定します。 エアフレックスパネル組合せの場合 ※3 ・ON/OFF 切換:詳細設定で、有効にされている各吹出口のエアフレックス ON/OFF(作動中/停止中)を切換えます。	A	
3 サーマルセンサ制御	※7 室内ユニットのサーマルセンサ制御を設定します。	A	
4 タイマー設定	時間入タイマー 停止後、運転させたい時間を設定します。 ・1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。 時間切タイマー 運転後、停止させたい時間を設定します。 ・1~12時間の範囲を1時間単位で設定可能です。 時刻入タイマー 運転開始時刻を設定します。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・1回のみ/毎日の切換が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。 時刻切タイマー 運転停止時刻を設定します。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・1回のみ/毎日の切換が可能です。 ウィークリータイマー 1週間の入タイマーまたは切タイマーを設定します。 ・1日最大8パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は5分単位で設定可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。 ・運転開始時の運転モード・設定温度・風量を設定できます。 タイマー設定内容確認 各タイマーの設定内容を一覧できます。	A	△
5 おこのみ設定 管理者パスワード	※1 おこのみ設定運転で使用する運転モード、設定温度、風量、風向を設定します。おこのみ設定1、おこのみ設定2のそれぞれに設定が可能です。	A	
6 るす番運転 管理者パスワード	お部屋を留守にするとき、お部屋は著しく高温/低温にならないように温度を保ちます。 ・外温と制御温度により冷房/暖房を行います。 ・設定温度、風量の設定が可能です。	A	
7 換気 換気機器組合せの場合	換気のON/OFF操作を行います。 [メニュー]⇒[サービス設定]⇒[リモコン設定]⇒[換気設定]の設定が必要です。 ・換気設定を「単独操作」に設定した場合、換気機器の運転/停止ができます。	A	○

※1: RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。
※2: RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。
※3: RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。
※4: RC-DX3B 以前のリモコンには、この機能はありません。

※5: RC-DX3C 以前のリモコンには、この機能はありません。
※6: 標準リモコンには、この機能はありません。
※7: 日本国内向けのリモコンには、この機能はありません。

⑤ リモコンからの操作・設定 (つづき)

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン	
8 言語切替設定	リモコンに表示する言語を選択します。 ・選択できる言語は下記です。 英語 / 日本語 ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / ポルトガル語 / 中国語 ※ 2	A		
9 室外静音設定	室外ユニットの静音性を優先して運転します。 ・室外静音運転の開始・停止を設定します。	A	△	
10 室内機無線 LAN 設定	※ 7 無線 LAN を介した専用アプリによる室内機操作の有効 / 無効を設定します。	A		
11 省エネモード設定	※ 5 室内ユニットの省エネモードを設定します。	A		
12 見てみて	室内温度、室外温度、運転時間、消費電力量を表示します。 ・室内ユニット-室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A		
13 消費電力量表示	※ 1 今日、今週、今年の消費電力量をグラフで表示します。 昨日、先週、昨年と比較することができます。 ・室内ユニット-室外ユニットの組合せによっては表示できない場合があります。	A		
4. 省エネ設定	管理者パスワード			
1 切忘れ防止タイマー	運転を開始してから停止するまでの時間を設定します。 ・設定時間は 30 ~ 240 分 (10 分単位) まで選択可能です。 ・設定「有効」の場合、毎回、タイマーが作動します。	A		
2 ピークカットタイマー	能力を制限する運転の開始時刻と停止時刻、能力制限率を設定します。 ・1 日最大 4 パターンまで設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 ・能力制限率は 0.40 ~ 80% (20% 単位) から選択可能です。 ・祭日および臨時休業など、休日設定が可能です。	A		
3 設定温度自動復帰	設定時刻後に設定した温度に戻ります。 ・暖房モード / 冷房モード他、各々設定可能です。 ・設定時間は 20 ~ 120 分 (10 分単位) まで設定可能です。 ・設定時刻は 10 分単位で設定可能です。	A	△	
4 人感センサ制御	※ 1 人感センサを使用する場合、パワーコントロールとオートオフの有効 / 無効を設定します。	A		
人感センサがある場合	パワーコントロールの冷房時 / 暖房時設定温度を設定します。	A		
5. お手入れ				
1 フィルタサインリセット	フィルタサインの解除 次回清掃日の設定 フィルタサインの解除を行います。 次回清掃日の設定を行います。	A	○	
2 グリル昇降	ラクリーナパネル制御 ラクリーナパネル 組合せの場合 降下長設定 管理者パスワード ダスト回収リセット お掃除パネル組合せ の場合	ラクリーナパネル グリルの昇降操作をします。 [メニュー] ⇒ [サービス設定] ⇒ [据付設定] ⇒ [グリル昇降操作] の設定が必要です。 グリル昇降長さを設定します。 ・0.1 ~ 4.0 m の範囲で設定できます。 ・設定長さは 0.1 m 単位で設定可能です。 ・接続室内ユニット毎に設定できます。 ダスト回収後にダスト回収タイマーをリセットします。	A	○
3 お掃除パネル設定	管理者パスワード お掃除自動設定 清掃時間帯設定 清掃間隔設定 ダスト回収設定 ブラシ清掃回数設定 ブラシ移動速さ ※ 4 ブラシ往復数 ※ 4	自動清掃の有効 / 休止を設定します。 自動清掃を開始する時間帯を設定します。 自動清掃する最小の間隔を設定します。 ダストの回収時期を設定します。 ブラシの清掃回数を設定します。 ブラシ移動速さを設定します。 ブラシ往復数を設定します。	A	
6. ユーザ設定				
1 初期設定	時刻設定 時刻表示設定 サマータイム補正 コントラスト調整 バックライト ブザー音 運転ランプ輝度 ※ 1	現在の日付・時刻を設定及び修正を行います。 ・80 時間以内の停電の場合、内蔵バックアップ電源の働きにより時計は動き続けます。 時刻表示のあり / なし、12 H / 24 H、AM / PM 位置、を設定します。 現在時刻に対し、+ 1 時間の補正を行います。 液晶の濃度の調整を行います。 バックライトの有効 / 無効、点灯時間を設定します。 タッチパネル操作時のブザー音のあり / なしを設定します。 運転ランプの輝度の調整を行います。	A	△

※ 1 : RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。
 ※ 2 : RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。
 ※ 3 : RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。
 ※ 4 : RC-DX3B 以前のリモコンには、この機能はありません。

※ 5 : RC-DX3C 以前のリモコンには、この機能はありません。
 ※ 6 : 標準リモコンには、この機能はありません。
 ※ 7 : 日本国内向けのリモコンには、この機能はありません。

⑤ リモコンからの操作・設定 (つづき)

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン	
2 管理者設定				
管理者パスワード	操作制限設定 管理者パスワード 室外静音タイマー 設定温度範囲 温度設定刻み切替 設定温度表示切替 リモコン表示設定 管理者パスワード変更 スイッチ機能変更 ※ 1	・操作の許可 / 禁止を設定します。 [運転 / 停止] [設定温度切替] [運転モード切替] [風向切替] [風量切替] [ハイパワー運転] [省エネ運転] [見てみて] [タイマー設定] [消費電力量表示] ※ 1 ※ 6 [サーマルセンサ制御] ※ 7 ・操作時の管理者パスワード要求を設定します。 [フリーフロー設定] [グリル降下長設定] [ウィークリータイマー設定] [言語切替設定] [エアフレックス (風よけ) 設定] ※ 1 ※ 6 室外ユニットの静音性を優先して運転する時間帯を設定します。 ・静音運転開始時刻と終了時刻を設定可能です。 ・設定時刻は 5 分単位で設定可能です。 設定温度範囲を制限します。 ・運転モードによる温度範囲の制限が可能です。 設定温度の刻み (0.5°C / 1.0°C) を設定します。 設定温度の表示の仕方を切り換えます。 リモコン名称、室内ユニット名称を登録します。 室温表示のあり / なしを設定します。 点検コード、暖房準備、除霜運転中、自動冷暖の表示、リモコン・室温・ 外温表示のあり / なしを設定します。 管理者パスワードの変更を行います。 管理者パスワードのリセットを行います。 F1、F2 スイッチの機能を設定します。 設定できる機能 [エアフレックス ON/OFF] ※ 3 [ハイパワー運転] [省エネ運転] [室外静音制御] [るす番運転] [おこのみ設定運転 1] [おこのみ設定運転 2] [フィルタサインリセット] [グリル昇降] [消費電力量表示] [サーマルセンサ制御] ※ 7	A	△
7. サービス設定				
1 据付設定				
サービスパスワード	据付日登録 サービス情報入力 試運転 冷房試運転 ドレンポンプ試運転 お掃除試運転 ダクト機静圧補正 自動アドレス変更 親室内機アドレス 設定 バックアップ制御 人感センサ設定 ※ 1 人感センサ付パネルの 組合せの場合 リモコンアラーム音 設定 ※ 5 サーマルセンサ設定 ※ 7 ドレンクリーン (UV-C) 設定 ※ 5 グリル昇降操作	据付日を登録した場合、点検表示を行います。 リモコンに連絡先を登録することができます。 ・連絡先を半角 26 文字相当以内で登録できます。 ・連絡先 TEL 番号を 13 文字以内で登録できます。 試運転の開始 / 停止を制御できます。 設定 5°C 30 分間運転します。 ドレンポンプのみを運転します。 フィルタ清掃 ブラシ清掃運転します。 お掃除パネル組合せの場合 機外静圧補正機能付ダクト形室内ユニット組合せの場合に操作できます。 ・接続室内ユニット毎に個別に設定できます。 個別発停マルチシリーズ自動アドレス番号を変更することができます。 個別発停マルチシリーズ 設定された親ユニットのみ運転モード変更を許可し、親を設定したユニットは親ユニットから送られた運転モードに従って運転します。 1 台のリモコンに室内ユニット 2 台 (2 グループ) は接続されている時にローテーション運転、キャパシティバックアップ運転、フォルトバックアップ運転の有効 / 無効が設定できます。 リモコンに接続された室内機の人感センサ検知の有効 / 無効を設定します。 無効の場合は、省エネ設定の人感センサ制御を行うことができません。 リモコンの警報機能の有効 / 無効を設定します。 サーマルセンサの有効 / 無効を設定します。 ドレンクリーン (UV-C) の有効 / 無効を設定します。 ラクリーナパネル操作を有効に設定します。 ラクリーナパネル組合せの場合	B	△

⑤ リモコンからの操作・設定 (つづき)

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
2 リモコン設定	リモコン親子設定	B	○
サービスパスワード	吸込センサー制御	B	
	リモコンセンサー	B	△
	リモコンセンサー補正	B	△
	運転モード選択	B	△
	設定温度単位	B	
	ファン速度	B	○
	外部入力設定	B	○
	上下ルーバ制御	B	○
	左右ルーバ制御 ※2	B	
	換気設定	B	○
	停電補償	B	○
	設定温度自動設定	B	
	風量自動設定	B	
3 室内設定	風速設定	B	○
サービスパスワード	フィルターサイン	B	○
	外部入力1設定	B	○
	外部入力1方式切換	B	○
	外部入力2設定	B	
	外部入力2方式切換	B	
	暖房室温補正	B	○
	吸込温度補正	B	○
	冷房ファン制御	B	○
	暖房ファン制御	B	○
	フロスト防止温度	B	○
	フロスト防止制御	B	○
	ドレンポンプ運転	B	○
	冷房ファン残留運転	B	○
暖房ファン残留運転	B	○	
暖房ファン間欠	B	○	
送風サーモ運転	B		
外調機設定	B		
運転モード自動設定	B		
サーモ判定切換	B		
風量自動切換	B		
室内過負荷アラーム	B		
外部出力設定 ※1	B		
デフロスト時ファン制御 ※5	B		

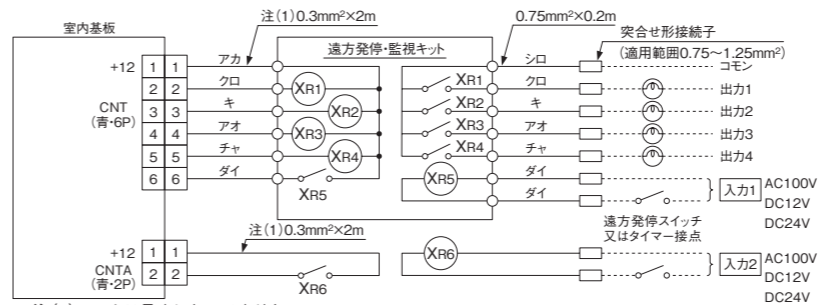
※1: RC-DX2 以前のリモコンには、この機能はありません。
 ※2: RC-DX3 以前のリモコンには、この機能はありません。
 ※3: RC-DX3A 以前のリモコンには、この機能はありません。
 ※4: RC-DX3B 以前のリモコンには、この機能はありません。
 ※5: RC-DX3C 以前のリモコンには、この機能はありません。
 ※6: 標準リモコンには、この機能はありません。
 ※7: 日本国内向けのリモコンには、この機能はありません。

⑤ リモコンからの操作・設定 (つづき)

設定および表示項目	詳細内容	eco タッチ	標準 リモコン
4 サービス・メンテナンス	エアコンNo. 表示	B	○
	次回点検日	A B	
	サービスパスワード	B	○
	運転データ表示	B	
	点検表示		
	異常履歴表示	B	△
	異常時運転データ表示		
	異常時運転データ消去		
	定期点検リセット		
	室内設定保存	B	
特殊操作	B	△	
室内機容量表示 ※1	B		
UV-C メンテナンス ※5	B		
照射設定 ※5			
照射積算時間リセット ※5			
お掃除パネル点検	B		
8. 困ったときは・・・			
1 連絡先表示	A		
2 サービスを依頼される前に Q & A	A		
9. 点検表示			
点検表示確認	A	△	
10. パソコン接続			
USB 接続	C		

◆組合せ室内・室外ユニットの仕様により、本内容が機能しない場合もあります。

⑥ 室内基板CNTコネクタの機能



- 注(1) 2mより長くしないでください。
 ●XR1~4はDC12Vリレー (オムロン製LY2F相当品)
 ●XR5は、DC12、24Vまたは100Vリレー (オムロン製MY2F相当品)
 ●CNTコネクタ (現地側) メーカー、形式
 コネクタ:モレックス製 5264-06
 端子:モレックス製 5263T
 別売品 (PCZ006A043) を準備しておりますのでご利用ください。
 ●遠方発停・監視キットを別売品にて準備しておりますのでご利用ください。
 ●CNTAコネクタは、FDT他に搭載<仕様書で確認願います> (現地側) メーカー、形式
 コネクタ:日本圧着端子JST製 XAP02V-1-E
 端子:日本圧着端子JST製 SXA-01T-P0.6
 別売品 (PCZ006A053) を準備しておりますのでご利用ください。

●出力1~4, 入力1・2を下記の項目より自由に選択・設定することができます。
 工場出荷時は下記のように設定されています。

① 運転出力	⑧ ファン運転出力3
② 暖房出力	⑨ デフロスト、油戻し出力
③ コンブ ON 出力	⑩ 換気出力
④ 点検 (異常) 出力	⑪ ヒータ出力
⑤ 冷房出力	⑫ フリークーリング出力
⑥ ファン運転出力1	⑬ 室内過負荷異常出力
⑦ ファン運転出力2	

① 運転 / 停止	⑤ 設定温度シフト
② 運転許可禁止	⑥ 強制サーモ OFF
③ 緊急停止	⑦ 一時停止
④ 冷房 / 暖房	⑧ 静音モード

CNT-2 出力1	運転出力	CNT-5 出力4	点検 (異常) 出力
CNT-3 出力2	暖房出力	CNT-6 入力1	運転 / 停止
CNT-4 出力3	コンブ ON 出力	CNTA 入力2	運転 / 停止

●設定の方法は技術資料をご覧ください。